

令和7年10月20日発行

- 第30号 -

とも たの 偕に楽しむ

白河研修旅行！ 楽しく満たされた旅行でした！



今年の研修旅行は5月27日に白河方面へ出かけました。幸い雨にもあわず30名での充実した旅行になりました。小峰城はガイドの案内があり、2班に分かれて見学をしました。戊辰戦争で本丸などが焼失しましたが、松平定信が藩主のときの詳細な図面が残っていたため、三重櫓や前御門が1991年に木造で復元されました。また石垣は東日本大震災で10カ所にわたり崩落しましたが、5年で元の姿に戻ったそうです。

高さが14メートルある三重櫓に上りました。階段は急で狭く、好文亭の階段よりきつい階段でした。石落としや狭間が装備されていました。石垣も素晴らしく圧倒されました。

小峰城歴史館には小峰城をVRで体験するシアターがあり、3面のスクリーンに映し出される立体映像に身体をのけぞって食い入るように見てしまいました。

「蒼の里」での豪華な昼食後は南湖公園で自由に散策。併設する翠楽園でお茶を楽しまれた方も居られました。多くの物を見聞きし、安全で楽しく満たされた研修旅行でした。

交流委員会 岡野 一紀



令和7年度定期総会・講演会の報告



総会で挨拶する三ッ石会長

今年度の定期総会は、4月22日に57名の会員そして来賓5名の参加のもと県立歴史館講堂で開催されました。木村久美子理事の司会で定刻に始まった総会は、三ッ石敏会長の挨拶に続き、来賓の水戸市長（代理太田達彦都市計画部長）から本会活動への謝辞、梅まつりの様子、小石川後樂園のある文京区との連携についてなどの内容のメッセージをいただきました。その後、三ッ石会長の議長で議事に入り、第1号議案令和6年度事業報告、第2号議案令和6年度決算報告に続き監査報告があり、いずれも承認されました。次に第3号議

案令和7年度事業計画及び第4号議案令和7年度予算案が審議され、その中で個人の負担が大きい大名庭園サミット参加時費用に対する会からの補助金について提案があり、いずれも承認されました。その後の第5号議案会則改定の件で、連続して5年間会費未納の会員は退会したものとみなす項目を加える案が承認され、議事は終了しました。

休憩をはさみ講演会が、江戸文字書家の橘右之吉氏を講師に「江戸時代の町人文化と江戸文字」という演題で行われました。橘氏には資料を用意して頂き、本来用途の異なる江戸文字の種類及びその概要についてお話があり、その多彩さに驚かされると共に町人文化の広がりも感じるどころがありました。締めくくりとして橘流江戸文字の実演があり、色紙に希望の字を書いてもらう場面が設けられると、多くの希望者が橘氏の周りに集い笑顔で色紙を手にしていました。



橘氏に書いてもらった江戸文字を並べて

事務局長 後藤 克己

「偕楽園梅細工について」(続)

前号では、本県の産業振興と水戸の梅細工との関わりについて触れましたが、今年5月、本会前会長の湊正雄氏が梅細工をお持ちと伺い、早速拝見させていただきました。茶道家の氏が所蔵されている梅細工は、なつめ（水戸彫 湖舟堂 御茶器 の箱書き）、茶杓（常磐神社 梅木細工 の箱書き）、菓子盆、菓子皿（箱に梅細工）などです。これらは現在も営業をしている南町の工芸デパートでかつて販売されており、茨城町在住の職人が作っていたそうです。

「水戸名勝記」（明治44年発行）には、『常磐公園（現偕楽園公園）の梅樹を材料に木杯、扇面掛け、短冊掛け、写真挟み、公園真景蒔絵盆、公園図入春慶塗盆、梅の盆を製造、販売するは上市南町佐久間商店にして『何れも雅致に富み公園土産としては適當の品なり』と記されています。偕楽園の梅の木を材料に様々な工芸品が長く作られていたことがこの資料からもわかります。



梅細工 なつめ

魅力向上委員会 林 和男

委員会だより ～1～

16期目がスタート「弘道館やさしい論語塾」

令和7年度の「弘道館やさしい論語塾」が、4月5日から開講しました。今年度も授業は弘道館の至善堂にて開催させていただきます。

開講式には水戸市高橋市長も公務でお忙しい中、駆けつけてくださり「生き方や座右の銘とする言葉を見つけて欲しい」と、お言葉をいただきました。授業は8月を除く4月から12月まで、小塚のり子先生と小堀優先生が講師を務めてくださいます。孔子先生が仰っていた学ぶ喜びや、仁(思いやり)の大切さを、先生方の体験を交えながら教えて下さいました。今年は猛暑が続きましたが至善堂を通る風や、素読の声に涼を感じるひと時もありました。

また8月は、年に一回の安岡定子先生の特別講座を開催し、出来るだけ多くの方にご参加いただけるように、アダストリアみとアリーナの会議室で行いました。安岡定子先生が選ばれた章句には「人との出会いや関わり方が自身を磨き人間力を養う」という教えが込められており、受講生からは、「自分を見つめる機会になった」「目の前が明るくなった」などの感想をいただきました。全国にある藩校の中でも継続して論語塾が開催されている場所は大変少ないそうです。貴重な機会を大切にしつつ、今後も皆様に論語や水戸の歴史、自然を楽しんでいただきたいと思います。



弘道館至善堂での開校式



安岡先生の特別講座

論語委員会 鈴木 律子

「梅染めの魅力」を水戸まちなかフェスティバルや偕楽園で伝えています

本会では、偕楽園の木を材料に用いた「梅染め」活動をととして、徳川斉昭公の梅に対する深い思いを現代に引き継ぐとともに、偕楽園の魅力をひろく伝えています。

本年5月3日(土)、水戸の目抜き通り、国道50号線上を会場に“水戸まちなかフェスティバル2025”が開催され、本会は梅染めの生地を用いたつまみ花づくりのワークショップを開きました。精巧で美しい梅の花のつまみ細工は、多くの方から高い評価を受けています。今回は、花パートナー部に所属する会員9名が担当し、ワークショップへの一般参加者は60名を超える大盛況でした。同時に会報の配布や、活動の写真による本会の紹介にも務めました。

また、8月9日(土)、偕楽園本園内で梅染めワークショップの講師として本会会員8名が担当。4回目となる今回は、手ぬぐいの模様染めを24名の方々が楽しみました。

10月27日(月)から30日(木)まで、JAクオリテラボ(水戸全農会1階)において本会会員による梅染め作品の展示会、来年の2月17日(火)から22日(日)まで偕楽園公園センターギャラリーにおいて梅染め作品展を開催します。ぜひ皆様のご来場をお待ちしております。

魅力向上委員会 林 和男



つまみ細工のワークショップ

委員会だより ～2～

新しい花壇で花パートナー活動がスタートしました

令和7年春、花パートナーの活動の場が、偕楽園公園センター脇に移りました。新しいこの花壇の整備に御尽力頂いた方々に感謝申し上げます。旧花壇は先輩達が育ててきましたから、心残りはありますが、心機一転、これを好転と捉え心一つに作業を始めました。活動に入る前の3月10日、(有)鈴木緑化サービスの鈴木様に花壇作りに大切な事を伺いました。「花の配置や予算は勿論、会員の年齢や体力も考慮する事です。」。そのお話の通り移植作業は4月までかかり想像以上に力仕事でした。又、今年は猛暑続きで、体力を考え作業中止した日もありました。暑さを乗り越え何とか花の絶えない花壇となり、計画した「ひまわり畑」も見事に開花。会員の皆さんの想いが込められた花壇です。



花いっぱい新しい花壇

魅力向上委員会 花パートナー担当 大森 とみ代

8年目を迎えた朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャーウォーキング

第3土曜日朝6時半から窈窕広場にて朝活ヨガ&ポスチャーウォーキングを開催しています。お陰様で活動8年目の9/20には27人の参加者が集いました。

齊昭公が領民と共に楽しむ場として造ったこの素晴らしい場所で、自然を愛で、四季の移ろいを感じながらのウォーキングやヨガは心身の健康だけではなく、大きな誇りと感謝の念をもたらしてくれます。参加者の中には、「偕楽園の魅力を再認識した」と、当会に入会してくださる方もいらっしゃいます。多くの市民の皆様と偕楽園公園の恵みを楽しむ喜びを味わいながら、今後も活動を続けていきたいと思ひます。



青空にまっすぐ背を伸ばして!

魅力向上委員会 ヨガ・ポスチャーウォーキング担当 鯉沼 千加子

研修会「水戸藩主徳川治保と一橋治済」の報告

9月20日(日)に水戸市国際交流センター 多目的ホールにて研修会を行いました。演題は「水戸藩主徳川治保と一橋治済」～松平定信老中就任を巡って～、講師の先生は木村秀弘氏、参加者は31名でした。普段あまり話題にならない時代ですが、今年の大河ドラマで取り上げられ注目されています。講演では、大河ドラマに登場する人物が多く出てきて、皆さん満足して頂けたのではないのでしょうか。これからも種々研修会を企画したいと思ひますので、積極的にご参加ください。



講師の話をじっくり聴く参加者

広報・研修委員会 赤坂 知子

会員紹介

今号の会員紹介は、根本豊さんと坏貴弘さん 男性2名に、会での活動の様子や思いなど寄せて頂きました。

根本 豊さん



花々とのふれあいを楽しんでいます!

られ嬉しくなります。またカメラを持ち、道の駅を訪れては四季の風景を写したり、土地ながらの美味しい食事をするなど仲間との大切な時間を楽しんでいます。

花パートナー活動の一員として、毎月第2月曜と第4土曜の月2回活動をしています。今年度は偕楽園公園センター脇に新しい花壇が移されました。旧花壇から皇帝ダリア・グラジオラス・マリーゴールド等を移植、その他、会員の持ち寄った苗を育てています。デザインにも気配りし、高低差を考えながら整備しています。汗を流した作業後は花壇を眺めながら今後の活動について楽しく話しています。

個人としては、多肉サボテンをビニールハウスで育てています。今頃はトゲがある所から小さなピンクや白い花芽が見

坏 貴弘さん



会の活動を通じて
知ることが多いです!

ネットヨタ水戸株式会社経営企画グループの坏(あくつ)貴弘と申します。私は会社で地域交流を担当しており、その活動の中で昨年「偕楽園公園を愛する市民の会」に入会させていただきました。

今まで地元茨城で暮らしていく中で偕楽園の四季折々の美しい景色を感じて楽しんで来ましたが、入会後の活動を通じてその背後にある歴史や造りについても知ることが出来ました。また昨年滋賀県の玄宮園にて開催された大名庭園サミットにも参加させていただくなど、この会を通じて様々な方との交流機会を得ることが出来ました。

これからも偕楽園の魅力を学び、それを伝えていくことを楽しみに会の活動に参加していきたいと思っています。

活動会員募集のお知らせ

花パートナー活動、朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャウオーキングでは、随時、活動会員を募集しています。参加をご希望の方は事務局までご連絡ください。

■ 花パートナー活動

毎月 第2月曜日、第4土曜日 9:30~10:30
(季節に拠って活動時間が変わる場合があります。)

■ 朝活@偕楽園ヨガ&ポスチャウオーキング

毎月 第3土曜日 6:30~7:30

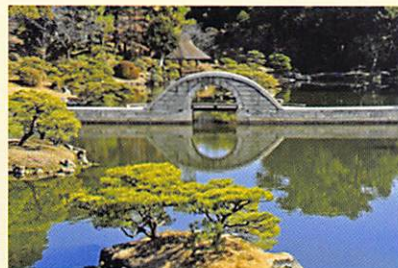


体験歓迎!

これからの行事案内

大名庭園サミット 広島大会のお知らせ

今年度の大名庭園サミットは、11月6日～7日に広島市で開催されます。広島市は水戸市から約930km離れた、政令指定都市の一つです。今回のエクスカースションは、「平和の道を辿って」と銘打って、縮景園や平和記念公園を案内していただけます。縮景園の名は、儒学者の林羅山が2代藩主光晟(みつあきら)の求めに応じて作った詩の序文「海山をその地に縮め風景をこの楼に聚む」から名付けたそうです。



11月は紅葉の美しい時期です。広島は1日では観光しきれない町です。足を延ばせば特別史跡・特別名勝の国宝厳島神社、呉市にある大和ミュージアムや下蒲刈島、府中町のマツダミュージアム等を巡れます。

交流委員会 岡野 一紀

「紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむつどい」のご案内

交流委員会

日時：令和7年11月23日(日) 10時～14時 受付9時30分～

集合場所：偕楽園公園センター

コース：窈窕広場～歴史館(水車小屋・旧茂木家)～もみじ谷(予定)

募集人員：40名(先着順) 参加費：600円(お弁当と保険を含む)

※ 当日キャンセルの場合は参加費を徴収します

問合せ・申し込み：三ッ石まで(TEL：090-8563-5181 E-mail：mitsusat@ybb.ne.jp)

※お名前、ご住所、連絡先、年齢をご連絡ください。

会員募集のお知らせ

偕楽園公園を愛する市民の会では会員を募集しています。入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

年会費振込のお願い

偕楽園公園を愛する市民の会は、会員の皆様の年会費に支えられています。年会費は下記のいずれかの口座へ振込お願いします。振込にかかる手数料はご負担ください。

郵便振替

常陽銀行

口座番号 00170-4-536139

口座番号 本店営業部(004) 普通 2737737

加入者名 偕楽園公園を愛する市民の会 口座名義 偕楽園公園を愛する市民の会 会長 三ッ石 敏

編集後記

◇会報「偕に楽しむ」は本号で30号になりました。記念号といきたかったところですが、余力がなく…。

記念号は改めて企画したいと思います。乞うご期待!(H)

◇偕楽園の魅力を少しでも伝えられるよう心を込めて編集しました。これからも皆さまと「偕に楽しんで」いければ幸いです。(A)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市西大島3-14-9 TEL：090-8563-5181

発行：偕楽園公園を愛する市民の会 ホームページ：www.kairaku-en.jp

※当会へのお問い合わせは事務局まで